

「2019キャンパスベンチャーグランプリ(CVG)中国」表彰式・記念講演会



2020年1月22日(水)広島市において、「2019キャンパスベンチャーグランプリ中国(以下、CVG中国)」の表彰式を開催した。CVG中国は、中国地域の大学・高専等の学生を対象に、起業家精神を醸成し、創造性・チャレンジ精神に富んだ人材を育成することを目的として、新事業・商品のアイデアやビジネスプランを募集・表彰するもので、当連合会、日刊工業新聞社、中国地域産学官コラボレーション会議(※)などで構成する実行委員会(委員長:当連合会苅田会長)が運営している。18回目となる今回は、124件(17校)の応募があり、その中から最優秀賞など10件の受賞プランを表彰した。
※中国地域の産学官連携を推進する主要87機関による組織体。当連合会が事務局を務める。

■主催者挨拶

2019キャンパスベンチャー
グランプリ中国
実行委員会 委員長
(一社)中国経済連合会
会長 苅田 知英



昨年度は、中国地区代表の広島大学 北村さんが、CVG全国大会において経済産業大臣賞を受賞する快挙を成し遂げるなど、着実に成果を上げていると考えている。これも、ご本人の大変な努力はもとより、大学、企業、行政関係者の皆様のご理解、ご協力の賜物と深く感謝している。

昨年は旭化成(株)名誉フェロー吉野彰氏がノーベル化学賞を受賞され、日本の基礎科学分野の研究成果が世界の発展に大きく寄与していることを示す明るい話題がある一方で、国内の広い範囲で自然災害が相次ぎ、国土の強靱化が喫緊の課題であることが改めて認識された。また、人口減少と超高齢社会という構造的課題も深刻さを増しており、地域の成長力を高めるには、逆境に立ち向かい、創造性に溢れ、挑戦する意欲の高い人材が求められている。

CVG中国では、学生のビジネスプランを競うコンテストを通じて、このような人材の育成を目

指している。CVG中国をきっかけに起業する学生の輩出はもとより、地域の企業の中で、新しい事業の開拓を先頭に立って推進し、地域に魅力ある産業を生み出す原動力になることを期待している。

今後もCVG中国の一層の充実と、それを支える先生方や学生とのネットワーク作りに努めていくので、皆様の変わらぬご支援を賜りたい。

■表彰

○最優秀賞(2件)

「どこでもマインドフルネスVR
労働者に最適なメンタルヘルスを」

広島大学大学院
石原 裕輝さん



(プラン概要)

メンタルヘルスを普及させるため、企業で働く労働者に対してVR(仮想現実)機器を用いたマインドフルネス*を実施する「環境」を提供する。マインドフルネスは、不安の解消等に効果があり、メンタルケアに対して高い効果を発揮する。VR空間は没入感覚に優れており、マインドフルネスに集中できる「空間」を構築しやすい。メンタルヘルスに必要な進行は音声ガイドで行ない、時間

と場所を問わずマインドフルネスに取り組める「環境」を提供する。

※ 瞑想や座禅に似たストレスマネジメントの一つで欧米で取り入れられている手法、Google や Apple、Yahoo!などの外資系企業を中心に導入企業が増加

「GUIBO『お金をもらいながら国内で留学?』～現地ガイドと訪日外国人のマッチングサービス」

岡山大学
久保 駿貴さん



(プラン概要)

GUIBOは現地ガイドが作成したツアーを訪日旅行者に対して提案するプラットフォームサービス。一般的にツアーへの支払いは一括の前払いが常識だが、旅行者はツアー終了後の満足度に応じてガイドへ支払額(チップ)を決めることができるのが特徴。一方でガイドは日本国内に居ながら無料で外国語に接したい人を想定。ツアー添乗を通じて「机の上の教科書」だけでは学べない「リアルな言語体験」ができて、さらにはガイドスキルによってチップがもらえる仕組みを作った。

■審査委員長講評

広島県発明協会会長

マツダ株式会社

シニアイノベーションフェロー

人見 光夫氏



現在、日本では人口減少が年々進んでおり、企業のプレゼンスも減退している。1980年代の日本は、世界時価総額ランキング

グ上位 10 社の中に多くの企業が名を連ねていたが、今は一社もなく、IT業界の巨人GAF A*、中国のBAT*などが名を連ねている。この要因として、日本にはベンチャー企業に対するサポート制度・風土・仕組みが不足しているのではないかと憂慮していたが、今年のCVG中国では若い学生の方々からの応募が124件もあり、中には既に起業している方もおられるということで、非常に頼もしい。

最優秀賞を受賞した石原さんのプランは、現在、社会問題となっているメンタルヘルスをテーマとしており、時流にあった良い提案となっている。久保さんのプランは、自身の手軽に英語を学びたいというニーズをビジネスに繋げており、既に起業されている点や、プランの緻密さなど秀逸な提案となっている。是非、二人とも2月17日に東京で開催される全国大会に向けて、更に磨きをかけて優秀な成績を収めてもらいたい。

今回、残念ながら入選できなかったプランや最優秀賞に選ばれなかったプランも、非常に良いものだったので、今回で諦めるのではなく、来年以降もチャレンジしてもらいたい。

最後に、学生の方々には、常に志を高く持ち、日本あるいは世界に羽ばたくような企業を作ってみせるぞという気概を持って日々精進してもらいたい。

※グーグル (Google)、アマゾン (Amazon)、フェイスブック (Facebook)、アップル (Apple) 4社の頭文字
※百度 (Baidu バイドゥ)、阿里巴巴 (Alibaba アリババ)、騰訊 (Tencent テンセント) 3社の頭文字

■受賞祝賀会・交流会

最優秀プラン発表会の後は「産業人クラブ春の交流会・CVG中国祝賀会」が開催された。各賞を受賞した学生、関係者を始め、産業界から多くの方が参加し、活発な情報交換が行われた。

(担当：菅原)

○その他の表彰

優 秀 賞	「『ねこたま』スマホ依存から全ての人を救うサービス」	広島大学 川村 優佳さん他
	「チタン多孔体による植物栽培計画」	広島大学大学院 小島 玲子さん他
特 別 賞	「留学生に対する入学から就職までのサポート」	広島大学 山本 笑里花さん
	「Pocket Travel スキマ時間で冒険しよう」	松江工業高等専門学校 藤井 勇生さん他
奨 励 賞	「大学情報レストラン School Meal 地方にいて全国の大学の学食を味わえるお店」	中国学園大学 林 優里さん他
	「ガーデンハウス 江田島」	安田女子大学 鋤田 里美さん他
	「プロジェクトマッピングの提供会社 Sobremesa (ソブレメサ)」	県立広島大学 畠山 遥さん他
	「マイワンピースプロジェクト似合う1着の制作」	島根大学 胡 純奈さん他